



特定非営利活動法人
ブラウブリッツ秋田スポーツネットワーク

ブラウブリッツ秋田スポーツネットワーク 令和7年度活動報告



◆ クラブ理念 ◆

誰もが気軽にスポーツを楽しめるような環境が整って、はじめて豊かなスポーツ文化は育れます。

年齢・性別・障害に関係なく、スポーツを楽しめる環境が側にあれば「いつでも」「どこでも」「いつまでも」心も体も健康で、豊かな生活を送ることができます。

スポーツを通じて秋田のスポーツ文化の基盤的役割を担うと共に「街づくり・人づくり・夢づくり」に貢献していきます。

- P.02 目次
- P.03 ご挨拶
- P.04～7 バレーボール活動報告
- P.08～9 サッカースクール活動報告
- P.10 運動神経向上スクール活動報告
- P.11 スキースクール活動報告
- P.12 スポーツジム活動報告
- P.13 剣道スクール報告
- P.14～16 その他活動について
- P.17 スポンサーおよび正会員一覧
- P.18 法人概要



◆ 代表理事 挨拶 ◆

目まぐるしい社会の変化とともに、子どもたちを取り巻く環境も日々変わりつつあります。中学校の部活動移行が政府から発表され、スポーツ環境も大きく変化しようとしています。これまでは、教育現場に依存し教職員の皆様には大きな負担が生じておりました。一方で、学校教育だからこそ普段の生活も含め子どもたちに寄り添いながら文部において教育・指導ができたからこそその強みもあります。

当法人では、子どもたちが好きなスポーツをいつの時代でも安心して優れた指導者のもと取り組むことができるよう、これまで尽力いただいた教育機関の皆様と共に新しい形を、それぞれの競技や地域に応じて構築していきたいと思っています。

また、未だスポーツ現場における体罰や暴言等のニュースが見受けられます。当法人が毎年開催しております監督が怒ってはいけない大会は、だれもが、いつでも、どこでも、安全に、安心してスポーツを楽しめる環境を広げる活動の一つだと捉えております。子どもたちがそれぞれのスポーツを好きという気持ちを大切に育み、生涯にわたってスポーツを楽しみながら健やかに逞しく成長していけるよう、より良いスポーツ環境の整備に取り組んで参ります。引き続きご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人ブラブリッツ秋田スポーツネットワーク

代表理事 岩瀬 浩介

◆ バレーボールスクール活動報告 ◆

ブラウブリッツ秋田バレーボールスクールでは、子ども達の「バレーボールが好き」という気持ちを大切に、考える力や人を尊重する気持ちを育てています。

勝つことだけを追求するのではなく、ゲームをすることの楽しさや、選手同士の交流をはかり、他者を尊重する心を育てています。

小学生から高校生まで同じコートで楽しくバレーボールに打ち込んでおり、小学生はこまちカップや福島で行われたしのぶもちずり杯などの大会に参加し、日ごろの練習の成果を試しました。

今年度は各レッスンの参加率が上がり、特に水曜日のスクールは定員30名が常に埋まるなど大盛況でした。



曜日	練習	会場
月	プレ アカデミー	桜コミュニティセンター
火	スクール 中学生女子練習	土崎南小学校 檜山コミュニティセンター
水	スクール	旭南小学校
木	スクール 中学生女子練習 アカデミー	寺内コミュニティセンター 港北小学校 港北小学校
金	スクール	旭南小学校
土	ビーチ アカデミー	浜田浜海水浴場 寺内コミュニティセンター
日	ビーチ スクール・アカデミー	浜田浜海水浴場 桜コミュニティセンター



2026年3月31日時点

＜スクール所属人数＞（ ）は前年比

高校生：9名（-6）

中学生：46名（+2）

小学生：68名（-9）

＜スクール生居住地＞

秋田市：108名

大仙市：7名

潟上市：2名

能代市：2名

由利本荘市：2名

にかほ市：1名

南秋田郡：1名

◆ バレーボール 中学女子スクール活動報告 ◆

部活動のフォローアップ、高校進学へ向けた指導を目的に中学生女子を対象としたスクールを行っています。

2025年度はスクール生から選手を選抜し、東北リーグへと初めて参加をしました。

9月～12月にかけて総当たりのリーグ戦や順位決定戦を行い、集大成として1月に行われたダイヤモンドカップへと出場しました。

また、スクールに所属する鎌田一歌は秋田県の選抜チームに選出され、「JOC・JVAカップ」、「次世代有望選手」、「大阪府知事賞」の3冠を受賞。名門の下北沢成徳高校へと進学しました。

活動を通じて中学生女子の会員数が19名→25名へと拡大。さらに1スクールあたり8名前後だった参加者が18名前後へと増えるなどスクールが大変活気にあふれてきています。



鎌田一歌

外旭川中学校出身

小学校まではクラシックバレエに取り組み中学からバレーボールを始める。

中学2年生からより成長したいという思いでブラウブリッツ秋田バレーボールクラブに入会。

週に2回ほどコンスタントに通い続け、秋田県選抜に選出。

キャプテンも務め、世代別日本代表のメンバーとしてイタリア遠征にも参加。



【東北リーグについて】

特定非営利活動法人TEAMiが中心となって開催しており、高校年代に繋がる競技力の向上を目的に東北6県のいくつかの条件を兼ね備えたクラブチームのみが参加できるリーグ戦です。

高校年代で必要とされるレベルの高い技術(Bクイック、ブロックシャット、バックアタック)で得点を取ると2点がもらえるなど、選手たちが積極的にプレーできる環境が整備されています。

リーグの卒業生は東北はもちろん、全国の強豪校へと進む選手も多く、2025年度に参加したブラウブリッツ秋田の選手たちも春の高校バレーの代表となった秋田北高校などへ進学を決めました。

◆ ビーチバレー活動報告 ◆

小学生から高校生までの子ども達がビーチバレーを練習することができる秋田県唯一のスクールです。
 秋田県ではまだ馴染みの薄いビーチバレーを普及するため、4月から10月に活動をしています。
 室内でのスクールに通う選手やアカデミーの選手も練習に参加し、砂浜で足腰を鍛えながら、個人のレベルアップを図っています。
 中学生の選手は夏休みに全国大会への出場、高校生は国体の秋田県代表を目指し、県大会に出場しています。
 また、2025年度は当クラブ所属の選手が2年連続秋田県代表としてミニ国体に出場しました。
 また、2025年度は藤原壮太(社会人)、平元大喜(高校3年)ペアが大人の全国大会に秋田県代表と出場し1回戦を突破しました。



◆ 国体予選 ◆

平元大・布施ペア:優勝
 ↳秋田県代表としてミニ国体に出場
 平元斗・岩瀬ペア:準優勝
 田中・高橋:1回戦敗退

◆ JVA第39回全日本ビーチバレーボール選手権大会 ◆

藤原・平元大ペア:2回戦敗退

◆ 湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会 ◆

<男子チーム>

予選グループ:3位

3位トーナメント:第3位

<女子チーム>

予選グループ:2位

2位トーナメント:1回戦敗退



2026年3月31日時点

<ビーチアカデミー所属人数>

社会人 :1名

高校3年生:2名

高校2年生:2名

高校1年生:3名

※中学生以下はスクール生が参加

<選手居住地>

秋田市:8名

◆ バレーボールアカデミー報告 ◆

バレーボールアカデミーは自身の通う中学校にバレーボール部のない子ども達が、中学に進んでもバレーボールが続けられるようにという思いのもと、設立しました。

高校、大学、その先でも通用するバレーボーラーになることを目指して、中学1年生～3年生まで14名が所属し、自身が通う中学校の垣根を越えて活動しています。

発足4年目を迎えた2025年度では4年連続全国大会出場に加えて、中総体でも2年連続県代表として東北大会へと出場しました。また、キャプテンを務めた田中志門選手は秋田県の選抜チームに選出され、中学卒業後は名門校の雄物川高校バレーボール部に進学しています。

【大会結果】

- ・令和7年度 秋田市中学校春季大会 優勝
- ・第30回秋田グリーンライオンズカップ中学校バレーボール大会 優勝
- ・第46回秋田青森二県選抜中学校親善バレーボール大会 準優勝
- ・令和7年度 秋田市中学校総合体育大会バレーボール大会 優勝
- ・令和7年度 秋田県中学校総合体育大会バレーボール大会 第3位
- ・2025秋田県ヤングバレーボールU14交流戦 優勝
- ・第28回全国ヤングクラブ優勝大会 全国大会出場
- ・令和7年度 秋田市中学校秋季大会 優勝
- ・第61回秋田県中学校秋嶺バレーボール大会 準優勝
- ・令和7年度 秋田県中学校秋季大会 第3位
- ・令和7年度秋田市民スポーツ祭中学校バレーボール大会 男子 準優勝
- ・令和7年度 秋田市中学校新春大会 優勝
- ・第60回秋田県中学校冬季バレーボール大会 準優勝
- ・JAなまはげカップ第16回秋田市6人制バレーボール総合選手権大会 優勝



2026年3月31日時点

＜アカデミー所属人数＞

中学3年生:6名
中学2年生:6名
中学1年生:4名

＜選手居住地＞

秋田市:18名
潟上市:1名
大仙市:1名

◆ サッカースクール報告 ◆

サッカースクールではサッカーや身体を動かすことの楽しさを伝え、チームスポーツを通じて仲間を大切にする『こころの成長』をテーマに指導しています。

秋田市、大館市、由利本荘市、にかほ市、能代市、大仙市と県内6か所でスクールを運営しています。

ブラウブリッツ秋田でサッカーを始める選手も多く、その日の練習で1つでも多くの技術を習得し、サッカーを好きになることを目的に行っています。ドリブルやシュートなど試合で活躍できる喜びを体感し、身体を動かすことを楽しんでもらえるようにスタッフ一同指導に尽力しています。

2025年度はスペシャルクラスの活動を強化し、札幌、仙台、山形、水戸、大宮といったJクラブとの交流戦、青森県、群馬県で行われたフェスティバルへの出場を行い、よりレベルの高い指導を求める子どもたちへ様々な経験をさせることができました。

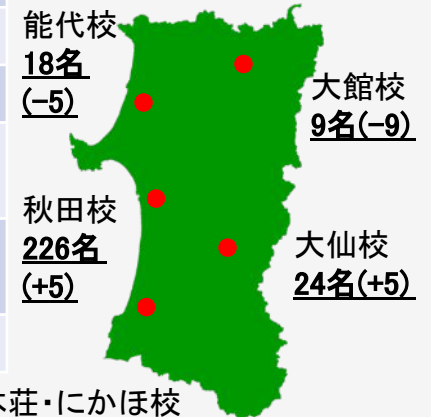


曜日	実施スクール
月	秋田校 大館校 由利本荘/にかほ校
火	秋田校
水	秋田校
木	秋田校 能代校
金	秋田校(年中・年長のみ) 大仙校
土	秋田校(年中・年長のみ)

2026年3月31日時点

5拠点 399名

前年比-9名



スペシャルクラス
41名(スクール生)
16名(外部生)

◆ サッカースクール実施イベント ◆

スペシャルクラス

スペシャルクラスとは、選考会に合格した選手のみが参加できるハイレベルのクラスです。

アカデミーコーチによる普段のスクールよりも高度なトレーニングを行ったり、クラブが主催の大会や、他Jクラブとの交流戦、フェスティバルへと参加しました。

群馬のフェスティバルでは優勝を果たし、貴重な経験を積むことができました。

5年度アカデミー進学:7名

6年度アカデミー進学:9名

7年度アカデミー進学:6名



GKスクール

県内でGKの指導者がいないスポーツ少年団もあることから、月に数回GK練習に特化したスクールを実施しています。秋田県は他県に比べ、体格的に優れた選手が多く、ブラウブリッツ秋田のアカデミーではU-15日本代表候補に選ばれた選手がいます。

今年度は、中学校の部活にキーパーの指導者がいない学校も多いという部活動もあるため、中学生向けのクラスも実施しました。



大人のサッカー教室

JFAのサッカー人口が人口対比で一番少ない秋田県。老若男女問わずサッカーを楽しむ人を増やすために、大人のサッカー教室の開催を強化しています。

ソースタジアムや土崎の室内練習場で初心者クラス、経験者クラス、レディースクラスと実施し、自身のレベルに合わせてサッカーを楽しんでもらっています。



JA共済presents キッズキャラバン

県内の各保育園・幼稚園に巡回教室を開催。秋田市はもちろん、能代市、にかほ市、由利本荘市、潟上市でも開催し、38園で60回の実施を行いました。

今年度は延べ約1,386名の子どもたちと一緒にサッカーをすることができました。

また、今年度は新たに大館市、大仙市にもキャラバンに伺いました。



◆ 運動神経向上スクール報告 ◆

運動神経向上スクールでは、運動遊びを通じて、子ども達の自由な発想で体を動かすことや、友達と協力して目標達成することなど、社会性を育める場の提供を行っています。

将来どの競技を選択しても困らない身体の土台づくりを目指して、子ども達の可能性を広げていきます。

「かけっこで1番になった」「縄跳びが飛べるようになった」などうれしいお声も多数いただくようになりました。

また、保育園や企業での運動指導も回数を増やしています。

2025年1月には北秋田市と包括的連携協定を締結し、同市内の園児や小学生を対象とした巡回教室、高齢者を対象とした運動教室などを4月から実施することに合意し、県民が健康的な生活を行う一助となれるように活動を行っています。



曜日	実施スクール
月	大館校
火	北秋田校
水	秋田校
金	北秋田校
日	秋田校

3拠点 151名

前年比+28名

北秋田校

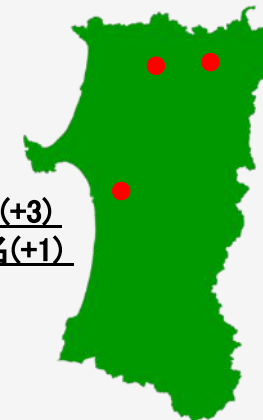
幼児 : 17名(±0)

小学生 : 41名(+17)

秋田校

幼児 : 36名(+3)

小学生 : 25名(+1)



大館校

幼児 : 24名(+16)

小学生 : 8名(-11)

2026年3月31日時点

◆ スキースクール報告 ◆

雪国である秋田県には田沢湖や森吉など有数のスキー場が多数あります。

しかしながら、少子化が進むにつれてスキー人口は年々減少しており、かつて小学校で行われていたスキーの授業も今では県北や県南の一部地域のみになっています。

当スクールはそういったスキー人口が減少していく現状に少しでも歯止めがかけられればという思いで立ち上げました。

2025年度は雪不足のため、天下森スキー場がオープンした1月初旬から3月初旬まで開催し、ユニークユーザー102名、延べ約171名のお子様にご参加いただきました。今年度は初心者クラス、ベーシッククラス、中学生向けのスペシャルクラスと3つのクラスに分けてレベルに合わせた指導を行いました。

スペシャルクラスに通う中学生は2人そろって大会の表彰台に上がり、技術大会での連覇を遂げるなど、日頃の練習の成果を発揮してくれました。

また、3月14日には秋田市の太平山スキー場 オープスでのレッスンを行いました。来シーズンから定期的に秋田市でもスクールを実施する予定です。

スキースクール

【会場】横手市天下森スキー場

【期間】2026年1月3日(土)～2025年3月1日(日)



◆ スポーツジム報告 ◆

2024年9月にクラブと地域のハブとなるブラウブリッツ秋田のチーム拠点としてクラブハウスがオープンしました。クラブハウスはチーム関係者のみならず、地域の住民の方も利用可能な施設として、食堂、ミーティングルーム、ランドリーなどを運営していますが、普段選手が使用するトレーニングジムも会員制のスポーツジムとしてNPO法人ブラウブリッツ秋田スポーツネットワークが運営しています。

トップチーム選手と同じ高機能のマシンはもちろん、秋田県では珍しいピラティスができるマシンも導入しています。発足2年目を迎え、会員数は60名から81名に増加しました。

また、法人契約は2社に拡大し、企業の従業員の皆様の福利厚生施設としてもご活用いただいている企業様もいらっしゃいます。

<ジム会員>

81名

一般会員：61名

法人会員：20名

<ジム会員居住地>

潟上市：57名

秋田市：17名

南秋田郡：6名

男鹿市：1名



◆ 剣道スクール報告 ◆

2025年4月より、新卒社員の雇用に伴い剣道スクールを立ち上げました。
「ブラウブリッツ秋田サムライ道場」と命名し、年長さんから中学生を対象に日々稽古に励んでいます。
保護者や兄弟の影響で始める子が多いとされる剣道ですが、ブラウブリッツ秋田が運営していると知って興味をもったお子様もいらっしゃいます。
2026年4月からは大会出場や段審査に向けた稽古を行うアカデミーも創設し、幅広い年代が参加できるように大人の方の受け入れも行う予定です。
秋田商業高校を始め、秋田県は剣道が強い県の1つです。
少子高齢化に伴い、剣道人口は減っていますが、ブラウブリッツ秋田を通じて1人でも多くの子どもたちに剣道の楽しさを伝えられるように活動をしていきます。



2026年3月31日時点
＜スクール所属人数＞
中学生：17名
小学生：7名
合計24名

＜スクール生居住地＞
秋田市：23名
南秋田郡：1名

◆ わくわくキャンプ ◆

8月・1月・3月開催

小学校の長期休暇を利用し、集団での自然体験やモノづくりの体験を通じて子供たちの自主性や協調性を伸ばすことを目的としてわくわくキャンプを実施しています。

2025年度は夏と冬は田沢湖で実施。夏は湖水浴とカレー作り、うどん打ちの体験。冬はスキーと餅つき、お雑煮づくりを行いました。

3月の春キャンプでは岩手県にて動物園を楽しんだほか、科学館にて様々な実験を体験し、プラネタリウムで星についての学習を行い、小岩井農場でバターづくりの体験を行いました。

1回のキャンプでは50~60名ほどのお子様に参加をいただきますが、このキャンプで初めて親元を離れて宿泊をする子供たちも多くいます。キャンプでの友達との集団生活を通じて「自分のことは自分でやるようになった」、「家でもお手伝いをしてくれるようになった」というお子さんの成長についてのご感想をいただいております。

また、今年度もダイヤモンドスポンサーの中田建設株式会社様から参加者募集のお声がけやノベルティグッズのご提供をいただき、イベント実施にあたりお力添えをいただきました。

体験を通じて子どもたちの成長を促していけるように、ブラウブリッツ秋田ではこれからもわくわくキャンプだけでなく、様々な活動を実施していきます。



◆ ホームゲームを通じてスクールの垣根を超えた交流◆

スクール生がもっとブラウブリッツ秋田を楽しんでもらうために、ホームゲームでのイベントを充実させました。トップチームの選手のバス到着に合わせたハイタッチ会やウォーミングアップ見学、ピッチサイドシートを継続的に実施し、プロ選手と触れ合う機会を創出しました。

また、BTOや横手FCなど県内の他チームをお招きしての交流戦や全スクールを対象とした運動会などを通じてピッチで運動をする楽しさを経験してもらいました。

サッカースクールが中心ですが、バレーボールクラブや運動神経向上スクールの子どもたちも毎試合観戦に来てくれる子が増え、ブラウブリッツ秋田ファミリーとしてトップチームの試合を楽しむ文化を醸成できたと思います。

また、運動会などを通じて競技の垣根を超えて友達を作り、クリスマス会やわくわくキャンプなどほかのイベントと一緒に参加する子どもたちも増やすことができました。

同じ競技はもちろん、同じブラウブリッツ秋田ファミリーとしてスクール生の中のお友達の輪も今後どんどん広げていき、みんなが楽しめる環境を整えていきます。



◆ 講師派遣 ◆

サッカースクール、運動神経向上スクールでは各自治体、企業、学校などへサッカー教室や運動教室へ講師を派遣し、各地域での運動機会の創出をはじめ、健康に関する指導など幅広く活動をしています。
子どもたちへの指導はもちろん、企業の従業員様向けの教室や講話など内容は多岐にわたりますが、各団体様のご要望に沿って県内各地にお伺いし、その地域のスポーツの発展のために寄与してまいります。

【7年度主な講師派遣実績】

秋田市 : JCカップU-11少年少女サッカー全国大会サッカークリニック、など
大館市 : スポーツ体験フェス・令和7年度体育・保健体育授業サポート事業など
北秋田市 : 北秋田市スポーツ少年団冬季体力づくり教室、あきた水土里ネット女性の会県北ブロック研修会など
八峰町 : 運動神経向上スクールinあきた白神体験センター
能代市 : 能代市 ブラウブリッツ秋田サッカークリニック、第2回子ども運動神経向上スクールなど
八郎潟町 : 八郎潟町スポ少トレーニング講習会
潟上市 : 男鹿潟上南秋スポーツ少年団指導者研修会など
由利本荘市 : 羽後信用金庫サッカー教室、第2回子ども運動神経向上スクールなど
にかほ市 : アンチエイジング教室、スポレク祭りなど
大仙市 : 第2回子ども運動神経向上スクール
横手市 : 第2回子ども運動神経向上スクール



◆ R7 実績 ◆

科 目	予 算	実 績	差 額
I 経常収益			
受取会費	560,000	100,000	△460,000
受取助成金等	3,300,000	2,282,590	△1,017,410
普及事業			
会費	38,670,000	38,193,116	△476,884
GKスクール会費	814,000	331,500	△482,500
SPスクール会費	1,404,000	2,475,100	1,071,100
SPスクール遠征・大会参加費	1,154,000	4,345,742	3,191,742
ウェア代回収	1,822,220	2,120,200	297,980
普及事業収益計	43,864,220	47,465,658	3,601,438
育成事業			
育成会費	2,050,100	1,712,630	△337,470
育成遠征・大会関連	2,350,000	2,312,022	△37,978
育成ウェア	215,000	83,600	△131,400
育成事業収益計	4,615,000	4,108,252	△506,748
企画・運営事業	3,754,000	4,170,320	416,320
指導者派遣事業	2,380,000	2,141,855	△238,145
その他の事業	2,530,000	3,080,000	550,000
雑収益	0	82,100	82,100
経常収益計	61,003,320	63,430,775	2,427,455

科 目	予 算	実 績	差 額
III 管理費			
(1)人件費			
給料手当	7,440,000	10,611,389	3,171,389
法定福利費	396,696	455,178	443,802
人件費計	7,836,696	11,066,567	3,229,871
(2)その他管理費			
旅費交通費	130,000	180,275	50,275
通信費	770,000	1,969,557	1,199,557
備品費	3,000	0	△3,000
消耗品費	3,000	153,563	123,563
支払手数料	150,000	17,056	△132,944
租税公課	600,000	1,808,300	1,208,300
雑費	761,000	1,025,163	264,163
その他管理費計	2,544,000	5,153,914	801,614
管理費計	10,380,696	14,412,181	4,031,485

科 目	予 算	実 績	差 額
II 事業費			
(1)人件費			
指導者報酬	22,461,700	20,659,800	△1,801,900
サポート指導者謝礼	4,750,000	3,743,942	△1,006,058
人件費計	27,211,700	24,403,742	△2,807,958
(2)その他事業費			
広告宣伝費	1,270,000	707,790	△562,210
旅費交通費	1,202,500	1,330,383	127,883
通信費	1,362,500	359,369	△1,003,131
消耗品費	40,000	175,752	135,752
用具費	1,120,000	1,145,860	25,860
会場費	1,053,000	1,013,088	△39,912
業務委託費	0	0	0
賃借料	1,100,000	1,681,132	581,132
減価償却費	3,971,600	4,168,760	197,160
雑費	790,000	1,273,321	483,321
ウェア卸代	2,149,000	1,939,800	△209,200
支払手数料	1,175,000	948,897	△226,103
遠征・大会関連費	3,425,000	6,407,338	2,982,338
企画・運営事業費	1,800,000	2,601,590	801,590
指導者ウェア費	598,000	390,500	△207,500
その他事業費計	21,056,600	24,143,680	2,779,780
事業費計	48,268,300	48,547,422	279,222

科 目	予 算	実 績	差 額
経常収益計	61,003,320	63,430,775	2,427,455
経常費用計	58,648,996	64,767,903	6,118,907
営業利益	2,354,324	△1,337,128	△3,691,452
受取利息	0	17,893	17,893
経常外収益計	0	17,893	17,893
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
経常利益	2,354,324	△1,319,235	△3,673,559
法人税、住民税及び事業税	300,000	82,964	△217,036
当期正味財産増減額	2,054,324	△1,402,199	△3,456,523
前期繰越正味財産額	1,188,238	1,188,238	0
次期繰越正味財産額	3,242,562	△ 213,961	△3,456,523

◆ スポンサーおよび正会員 一覧 ◆

＜ダイヤモンド会員＞



中田建設(株)

＜ゴールド会員＞



男鹿清掃興業(株)



豊興産株式会社

豊興産(株)

＜シルバー会員＞



医療法人慶尊会 玉木デンタルクリニック
医療法人慶尊会 玉木内科クリニック

＜スキースクールパートナー＞



Orbray(株)

＜正会員(法人)一覧＞

(株)甲設計事務所／(株)ブラウブリッツ秋田／
(有)アキタエージェンシー

＜正会員(個人)一覧＞

岩瀬 浩介／加藤 芳樹／清水 毅彦／堀井 郁夫／舩木 崇平
外山 新平／奈良 真



◆ 概要 ◆

特定非営利活動法人 ブラウブリッツ秋田スポーツネットワーク

名 称：特定非営利活動法人ブラウブリッツ秋田スポーツネットワーク

設 立：2021年10月4日

住 所：〒010-0951 秋田県秋田市山王三丁目1-7東カンビル

(株)ブラウブリッツ秋田内

代表理事(理事長)：岩瀬 浩介

副理事長：清水 毅彦

理 事：堀井 郁夫／小野 隆一郎／舩木 崇平／加藤 芳樹／奈良 真

監 事：吉田谷 昭仁／外山 新平